



The Association of Liquid Filtration and Purification Industry

LFPI News Letter

Winter 2013 No.62

玉音放送に思う



新年を迎えたこの時期に、「時節に合わぬ題材」とお叱りを受けるのは覚悟で、今、日本が置かれている状況を考察してみた。この文章を書いた12月4日は総選挙の公示日で、2週間後の結果は定かではないが、混沌とした政治状況がこれを機に好転に向かうと思っている国民は少ないと考える。

昨年の終戦記念日、NHKスペシャル「終戦 なぜ早く決められなかったのか」を見て、当時の政治の中枢で何が起き、誰が何をし、どうにも打開できない戦況下で降伏を決断できなかった事実を知り、驚きと憤りを覚えた方も多いと思う。当時、日本の5倍以上の経済力を持ち、石油の8割を輸入していたアメリカに宣戦布告し、一時的攻勢があったもののミッドウェイ海戦で大敗して制海権・制空権を失い、沖縄戦で18万人の犠牲者を出しながら、何の勝算もなしに勇ましく本土決戦を叫ぶ。ソ連参戦間近の情報を得ながら、体裁を気にして敗北を認めずに戦争を長引かせ、原爆で止めを刺された。第二次大戦の日本人死者300万人の70万人はこの最後の半年間で亡くなられた。6月22日の御前会議を前に天皇陛下は臣下を呼び、「慎重にしすぎた結果、降伏の機会を失う恐れがあるのではないかと降伏を促されたにも拘らず、会議ではそれもならず、原爆投下、ソ連参戦を招いた。

翻って、現在の日本はバブル崩壊から20年、未だトンネルの先が見えない。経済学者の藻谷浩介氏は「問題は景気ではなく、人口の波に因る。」と述べており、人口減少による総需要の収縮は如何ともし難い。日本経済はクライマックスを過ぎ、少子高齢化で労働者人口が減っている。大企業は競争力と市場を求め生産拠点を海外に移す。それでも欧米に比べて金融は安定しているため超円高となり、昨今は中小企業までも海外生産に舵を切り出した。家電メーカーの多くは理不尽なリストラを行い、結果、優秀な技術者は韓国、中国企業に引抜かれ虎の子の技術を吸い取られた。最近では品質的にも日本製を凌駕する製品も出てきている。また、国民も既に国家財政が破綻していることを認めず、従前同様の社会保障を求め、一部政治家は国民を無知蒙昧と見なすがごとく「消費税率引上げ、TPP絶対反対！」と国民を煽る、等など、この末期的な社会状況は語り尽くすことができない。70年周期説からすれば正に屈辱的無条件降伏間近と思わざるを得ない。

今の日本は身勝手な権利や面子を気にしている状況ではなく、現実を直視し、現状を認め、何をなさねばならぬかを真剣に考えるべきである。「堪へ難キヲ堪へ忍ヒ難キヲ忍ヒ以テ萬世ノ爲ニ太平ヲ開カムト欲ス」の御心を思い返し、次の時代のため、日本の将来の復活を期さなければならない。当工業会もそのために何ができるかを考え、具体的方針を出す必要があると考える。

株式会社ニクニ

代表取締役社長 大崎 荘一郎

総会・シンポジウム報告 10月12日 タイム24

4年に一度の一大イベントであるシンポジウムが、計74名の参加者を得て盛大に行われた。今回は、近年ますます関心が高まる水ビジネスの世界戦略と人材育成をテーマに、講演とパネルディスカッションからなる2部構成であった。

まず講演では、グローバル展開の第一線で活躍されている方々を講師としてお招きし、これからの企業がとるべき世界戦略について、官民それぞれの視点からのお話を伺った。つづくパネルディスカッションでは、世界戦略を担う次世代の人材をどのように育成すべきかについて、講師の先生方と若手会員をパネラーとし、会場の参加者も交えて意見交換を行った。

当日のプログラムは、以下に示す通りである。成功裏に終えたことに対し、この場をお借りして講師ならびに参加者の皆様に御礼を申し上げます。

1. 日時および場所

2012年10月12日(金)

- (1) 11:00 - 12:30 総会・シンポジウム タイム24 1階HALL 1 (東京・台場)
- (2) 13:30 - 18:00 シンポジウム 同上
- (3) 18:10 - 20:00 交流会 タイム24 11階 レストラン「シーガル」

2. 総会概要

地方からの参加者に考慮して午前11時からの開催となった。サポートスタッフは会場での準備のため、午前10時前には現場に集合し、会場の整備や様々な用意に追われた。総会参加者は43名であり委任状提出40強を合わせると、定款の定める定足数の5分の1を満たしており、総会成立が確認された。総会は議事次第に沿って下記のように進行した。

1. 第1号議案(第16期収支決算書報告の件)
2. 第2号議案(第17期事業計画案及び予算案承認の件)
3. 第3号議案(定款一部改定の件)
4. 第4号議案(表彰、その他)

各議案につき、報告および計画案等が発表され、すべての議案が承認された。

今回の表彰は、会社・団体が、株式会社トライテック、日本リファイン株式会社、キッコーマン食品株式会社の3社、個人は川瀬泰人(日本リファイン株式会社)、石川 敏(関西金網株式会社)、山本和彦(エンドレスハウザージャパン株式会社)の3名であった。

3. シンポジウム概要

テーマ: グローバル化する液体清澄化ビジネス –水ビジネスの世界戦略と人材育成–

- 13:30-13:40 開会挨拶 LFPI代表幹事、東京都市大学 教授 長岡 裕 様
- 13:40-14:40 グローバルの水問題に対するJICAの取り組み
(独)国際協力機構(JICA) 地球環境部次長 須藤 勝義 様
- 14:40-15:30 日立グループのグローバル水ビジネスへの取り組み
(株)日立製作所 水環境ソリューション事業統括本部 戦略本部長 上田新次郎 様
- 15:50-16:40 水ingの水ビジネス紹介
水ing(株) 副社長 水谷 重夫 様

16:50-17:50 パネルディスカッション「グローバル化に対応するための人材育成」

司 会：横浜国立大学 准教授 中村 一穂 様
パネラー：(独)国際協力機構 沢田 博美 様
(株)日立製作所 上田新次郎 様
水ing(株) 水谷 重夫 様
富士フィルター工業(株) 高梨 愛美 様
ランクセス(株) 佐藤 功治 様
(事務局・技術委員会)



交流会で挨拶される
松本幹治会長



須藤 勝義氏



上田新次郎氏



水谷 重夫氏



表彰者記念撮影



総会風景



シンポジウム風景

セミナー

「飲料水・飲料食品の製造における洗浄・殺菌技術と衛生管理」

11月29日 神奈川近代文学館

11月29日、神奈川近代文学館に150名を越える申込者が集まり、下記の6講演を聴講しました。講師の先生方、参加された皆様に厚く御礼申し上げます。

1. ミネラルウォーター類に関する最新動向

＜(社)全国清涼飲料工業会 技術部長 渡邊 健介氏＞

ミネラルウォーター類全般について、分類や法的な動きなど最新の動向、一般的衛生管理について解説されました。

2. 最近の宅配水事情の動向と課題

＜(株)ナック クリクラ事業推進部 部長 野口 稔男氏＞

宅配水市場規模、認知度、ブランドおよびウォーターサーバーにおける安全面、衛生面の課題について紹介されました。

3. 飲料水・飲料食品の製造と流通システムにおける洗浄・殺菌技術

＜フレスコ(株) 取締役 吉田 衛市氏＞

飲料水・飲料食品それぞれに対応した製造ラインのサンテーションと充填容器の洗浄・殺菌システム、ならびに各種飲料の代表的な殺菌技術の現状について具体的に説明されました。

4. 飲料水・飲料食品の製造における管理・検査および分析

＜大和製缶(株)総合研究所 研究管理室 主任 永田 洋平氏＞

飲料水・飲料食品を製造する上で必要な商業的無菌の考え方や微生物管理方法、ならびに微生物管理を行う上で必要な検査の基礎やポイント、留意すべき事項について説明されました。

5. 異物混入・微生物事故の事例と対策

＜(株)ナック クリクラ事業推進部 商品技術室 室長 由渕 義浩氏＞

①ミネラルウォーターの異物混入、微生物汚染の事例、②ボトルウォーターの異物混入、微生物汚染の事例とウォーターサーバーとの関係、③ボトルウォーターの異味・異臭の事例とウォーターサーバーとの関係の3点について説明されました。

6. 飲料水・飲料食品の製造における HACCP 認証

＜山田技術士事務所 所長 山田 佑一氏＞

飲料工場におけるHACCP手順を中心に事例解説され、現在食品工場で認証取得が進行しているFSSC22000の前提条件(PRP)となるPAS220の事例が紹介されました。

(広報委員会)



渡邊 健介氏



野口 稔男氏



吉田 衛市氏



永田 洋平氏



由瀬 義浩氏



山田 佑一氏



神奈川近代文学館



セミナー風景



セミナー風景

ベトナム現状報告

2012年9月14日～9月18日

注：本編は鈴木様がベトナムに自費出張された際の報告書の投稿です（広報委員会）

成 果

自身、初めてのベトナム視察となった。

ハノイとは漢字で“河内”と書き、文字通り河の内側にある開けた町であった。

町の中はまだまだ発展途上の空気が充満しており、インフラ整備もようやく整いつつあるといった感じである。

今回の視察ツアーでは、**発展著しいベトナムの現状を垣間見てくること（特に表面処理関連）**が最大の目的である。

今回、3社の工場を見学させていただき、ベトナムの現状をお聞かせいただいた。



【ベトナムの現状】

平均月収：150USD／月で、日本の高校新卒者の1/10（トータルでは日本の1/15とか）

電気代：日本の1/10

水道代：日本の1/5（ただし、供給は不安定で水質のバラつきが大きい）

伺った3社ともに、この部分だけを見ると製造業にとってはパラダイス！とおっしゃっていました。日本企業として一番ネックなのは“賄賂”が習慣化されており、経理上の部分で非常に難しいとのこと。賄賂をもらえないと所謂“仲間外れ”にされてしまうくらい当たり前のことのようなのだ。

【環境規制】

メッキや表面処理についての理解度が乏しく、“**表面処理＝薬品をたくさん使うから有害＝認めない**”ということで特に表面処理専門業者をはじめとした“排水する業種”の進出に関しては今のところは厳しい状況とのこと。

環境関連法規制は中国に習って追随して作られており、大企業が進出しきったところからその需要に応じて規制緩和が図られるのではないかという見解でした。

【その他】

ハノイ市内では、メッキ専業社6社でアルマイト専業社2社程度で、全体的に不足しており、今は大手企業の内製化と陸続きの中国で処理した後輸入してアッセンブルで対応しているところが多い。

所 見

今回の訪問はちょうど中国との尖閣諸島による関係悪化状態の真只中で、そのことについての影響も拝聴することができた。

リーマンショック以来の出店ラッシュ時期であるらしい。

各工業団地とも今は野ざらしのところだらけだが、ほとんどが契約済で工事待ちの状態であるとのこと。今後の発展が大いに期待される。

Thang Long Industrial Park II



野ざらし状態のように見受けられる工業団地だが全て契約済。
他の工業団地も同様。

EBARA Vietnam



CORONA Vietnam



IRISO Electronics Vietnam



60m のメッキライン



生産現場の様子

(伸栄化学産業株式会社 鈴木 勝夫)



＜夢と未来について＞

いろいろとまとまりがないですが、自由に書かせていただけるといことで“夢”と“未来”について「つぶやき」させていただきます。

子供の頃はよくSF小説(特にハヤカワSF文庫)を読みふけておりました。そのため、大きくなったら“宇宙に関係する仕事につけたらいいな”などと考え、未来の生活を夢見ておりました。



その後、会社に入りろ紙製品の開発に従事しておりました。そんな中、上司の勧めで米国にて開催された「Filtration 2002」視察ツアーに参加することとなりました。そこでは世界各国から集められた多様なフィルタ製品や最新技術が展示されており、フィルタについてではありませんが少し先の未来を肌で感じることができました。

予想しえなかった技術や製品が数多く存在することを知り、実現不可能と考えていたテーマや魅力を感じない小さい案件についても、実際には解決方法があったり、全く別の展開がある気がして(夢見て)取り組むようになりました。

それ以降、これまでの技術や知見の限界を超え(こだわりを捨て)、さまざまな方向に思考したり、多方面に知識や知見を求めました。その途中でLFPIに入会し、さらにはすばらしい方々とも知り合うことができました。

結果としては要求に応えられたことは多くありませんでしたが、内容問わず新たな発見や知見・経験は必ず得られました。特に要求される技術レベルが高いほど解決困難なために、同様の要求が繰り返されることも判ってきました。このことから、中途半端なまま研究開発をやめず、やりきることができれば最終的な結果につながると考えております。

展示会でのきっかけを得てから10年が経ち、その当時の新技術が利用された製品も世の中に出され、いくつかの課題は解決されてきたと考えております。

しかしながら、まだまだ解決困難な問題(水資源やエネルギー・食糧難など)は依然として存在しており、解決の糸口も無いものもあるのではないのでしょうか。

今の生活が先人達の努力によってもたらされたのであれば、子供や孫たちの暮らす未来については自分自身が責務を負うものと考えているようになってきました。

単に明るい未来を夢見るのでは無く、現実の未来とするために企業の一員として努力するとともに、LFPIの一員としてできることを精一杯おこなって参りたいと考えております。駄文にて恐縮ですがたわいもないつぶやきとして読み流していただけると幸いです。

(次回のつぶやきに続く)



広報委員のオフタイム

いよいよ、寒い冬がやってきました。今夏の残暑も厳しく長く、ついこの前までは暑い暑いと言っていたのですが、やはり、寒い冬が訪れましたね。

前回からスタートした広報委員のオフタイムですが、私のオフタイムは、休日の料理です。小さい頃から「食」に興味があり、食べることはもちろんのこと、色々な料理を作ることも大好きです。とはいうものの、やはり趣味程度ですのであしからず。普段は仕事もあることから、自分の作りたい料理はなかなかできません。しかしながら、休日は時間も十分にあり、ゆったりと、自分勝手に料理を作ることができます。オフタイムである休日の料理は、私のストレス解消になっています。「何を作ろうか?」「何の食材を使って作ろうか?」「どうやって作ろうか?」と考えている時が、やはり楽しいですね。



写真1 朝市の様子

休日には朝早くから起き、朝食やその日の昼食・夕食等を作ったりします。また、幸いなことに我が家の近くには朝市が開催されており、早朝から買い出しに行く時もあります(写真1)。

買い出しは、旬の食材を中心に買いますが、朝市を一巡すれば買い物袋がつつい増えてしまいます。その際には家族から怒られてしまうこともしばしば(悲)。

では、何を作るかといえば、今の季節はやはり「鍋」ですね。「おいおい、さっきから何かすごそうな料理でも作りそうな勢いの割に「鍋」か?」と皆さんに言われそうですが、「鍋」なんです!今の季節は!寒い季節はやっぱり「鍋」ですよ。寄せ鍋、チゲ鍋、豆乳鍋、鴨鍋等々色々ありますが、我が家では寄せ鍋を作る機会が多いです。だしが出る貝類や魚介類、白菜などの野菜を入れて調理します。もちろん私が「鍋奉行」になって腕をふるい、おいしいところを食べてもらいます。鍋の場合は、食材の切り方と食材の選定には少々凝ったりします。火の通りが均一になるように切ったり、ごった煮にならないように食材の品数は多くしないようにしています。今回は、「白菜と肉団子の鍋」を作ってみました(写真2)。出来上がった鍋を、皆が「おいしい!」と言ってくれるのが何よりのオフタイムのリラックスになります。メはご飯か麺か、その時の気分でいただきます。



写真2 今回作った鍋

昨年からノロウィルスの大流行との報道がありました。皆さんも風邪やウィルスに負けず、アツアツの鍋を囲んで、ビールや日本酒などのお酒と共にいかがでしょうか。大勢でワイワイするもよし、一人でも野菜等のバランスが良いメニューとしてもおすすめです。

〈株式会社 加藤美峰園本舗 小暮 直樹〉

第16期第3回理事会報告

平成24年9月28日(金)に、東京八重洲富士屋ホテル会議室にて第16期第3回理事会が開催された。

出席者は、大矢顧問、松本会長をはじめ理事各位および関係者を含め15名の参加があり、活発な議論が交わされた。

前回議事録の確認が行われ、配布資料による幹事会や各委員会の報告等の確認、意見交換が行われた。内容的には幹事会、各委員会の活動報告、

17期予算案や行事計画等が提案され、特に問題なく承認された。又、10月に開催される第16回定時総会を控え、事務局より第16期会計報告や第17期事業計画と予算案が提示され、適正な指摘をいただいた。第16回定時総会は開始時間を遅くする事(地方からの参加者のため)や、昼食時に弁当を支給するなどの理事会からの意見が反映された形で準備が進められている旨、報告された。

第17期の第1回理事会は平成25年2月初旬に開催を予定している。

〈事務局 卜部 兼好〉

会員情報

★現時点での会員数は132（名誉会員、協力会員、個人会員、特別会員を含む）です。
(H24年12月29日現在)

◆入会会員

一般会員
ユニチカ株式会社

(推薦者)

中村 一穂 氏

編集後記

2013年を迎え、今年はより良い年になるよう祈願いたします。昨年より広報委員として、参加させていただき、様々な分野で活躍されている皆様と共に仕事をさせていただきました。今後もユーザー会員を増やすべく、ユーザーの立場からも意見を発信していこうと思います。今年もLFPIの様々な活動に、会員様のご協力のほどよろしくお願い致します。

〈株式会社 加藤美蜂園本舗 小暮 直樹〉

◆ 編集／発行：日本液体清澄化技術工業会 広報委員会
◆ TEL (042) 720-4402 FAX (042) 710-9176

◆ 住所：〒194-0032 東京都町田市本町田2087-14
◆ LFPIホームページ <http://www.lfpi.org>